

分野	Ⅱ 就労・事業再開	分野内の整理	3. 産業再生について
----	-----------	--------	-------------

1. これまでの取組みと成果の概要（現状）

- ・復興計画【第一次】において、原子力発電関連産業に代わるすそ野の広い産業の誘致を推進していく方向性を整理。
- ・農業については、浪江町地域農業再生協議会において、今後の農業の方向性等を検討中。また、復興組合（仮）を組織して農地保全等を進めていくことを検討中。
- ・水産業については、「浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業」を実施中。事業の中で、浪江町水産業協働委員会において、今後の水産業の方向性を検討中。また、平成27年度の漁港の一部復旧に合わせて本格的な事業展開を想定。
- ・林業については、木質バイオマス発電と除染の一体的な推進による林業再生の方向性を模索中。

2. 部会での議論の概要（課題）

- ・中長期的には原発産業に代わる、すそ野の広い産業の誘致により地域経済を再生させていくことが重要であり、その下地を整える意味でも、また町内での生活再建を可能とする意味でも、まずは町内においても事業再開や雇用の場などを確保していくことが必要。
- ・産業再生にあたっては、まち全体のデザインが必要であり、全体の中の産業再生の姿が見えて具体的な議論ができるのではないかと。
- ・企業誘致にあたっては、浪江町単独で進めていくのは相当に困難。広域的な視点で考えることや、国・県の主体的な関わりが必要。
- ・農地がきれいな状態をみると「復興している」という実感が湧く。農業基盤の再生が第一歩であり、農地や林地の保全を進めていくべきではないかと。
- ・再生している経過が見えることで復興の気運が高まる。復興の見える化を図っていくことが大事ではないかと。

3. 部会からの提言（課題解決のための提言）

- ① 今後の地域経済を支える企業誘致を進めていくために、継続的に誘致産業の検討を進めるとともに、企業誘致を可能とするよう町内の環境整備を進めること。また、国・県・町が一丸となって産業再生の在り方を模索し、実現していくこと。
- ② 大規模な企業誘致には相当の時間を要するため、短期的には町内での事業再開や雇用の場の確保に努めること。また、今後の復旧・復興を進めていく際の昼間人口の増加などを見据えて検討を進めていくこと。
- ③ 第一次産業の再生にあたっては、農地の保全など現時点で可能な限り産業基盤を保全・再生しておくこと。また、再生協議会や復興組合（仮）などの一次産業の今後の方向性を検討する場において、一次産業の担い手が参画した中で議論を深めていくこと、さらに議論の結果を即時性をもって町民に周知すること。

4. 目的達成のための手法案（課題解決のための具体的なアイデアの提案）

- ① 産業再生に至るまでの短期的な取組み
 - ・除染やインフラ復旧等の作業員などの昼間人口の増加に合わせた、中間ステップとしての町内産業の方向性の検討
- ② 企業誘致
 - ・将来的な誘致を見据えて、工業団地整備や優遇策等を検討
 - ・福島県や町村会等を通じて、双葉郡としての企業誘致戦略を横断的に検討
- ③ 一次産業の再生
 - ・復興組合（仮）における農地保全の実施
 - ・再生協議会等での検討結果の周知、共有